



生活と環境

あなたが主役！「ごみダイエット瀬戸内」

お家で簡単！

段ボールコンポスト作り

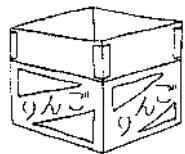
市では、生ごみ処理機購入費補助金制度や資源ごみ回収推進団体報奨金制度などを拡充し、家庭から出る生ごみや古紙の減量化を推進しています。

今回は、生ごみを使って堆肥を作る「段ボールコンポスト」の一例を紹介しましょう。

簡単に作ることができるので、この夏休みを利用して、家庭で取り組んでみてはいかがでしょうか。

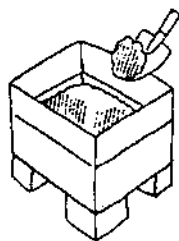
▽用意するもの

- ・ 段ボール箱1個（大きさはりんご箱くらい）
 - ・ 新聞紙2日分
 - ・ スコップ
 - ・ 腐葉土5キロ
 - ・ 米ぬか（3キロ＋追加分）
- ※塩を混ぜてある漬け物用の米ぬかは使用できません。

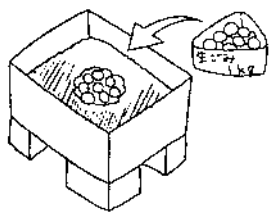


▽作り方

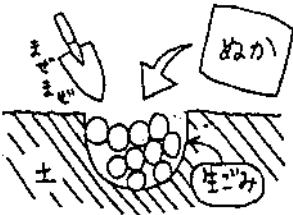
- ① 段ボール箱は、ふたの部分を立て、ガムテープで留めます。風通しが良く雨の当たらない所にブロックや角材などを並べ、その上に置いてください。底が抜けるのを防ぐため箱の底に新聞紙を敷きます。通気を良くするためふたはしないでください。虫が気になる場合には、レース布などで覆います。



- ③ 真ん中の土を深めに掘って、生ごみを入れます。最初は1キロぐらいが發酵しやすいようです。また、細かくした方が早く分解が進みます。



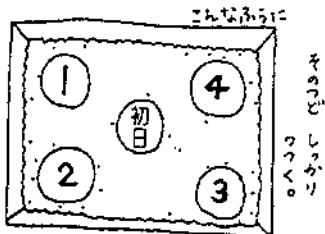
- ④ 生ごみに米ぬかを2つかみほどかけて、よくつき混ぜます。



- ⑤ さらに、生ごみの間に土が入り込むようにスコップでつつくように混ぜ、最後に土をかぶせます。



- ⑥ その次の日からは、箱の四隅を使って、同じように生ごみと米ぬかを入れます。6日目以降もこれを繰り返してください。生ごみは約1週間で分解されます。玉ねぎの皮や枝豆のさやなど分解しにくいものは取り出してください。發酵して分解が進んでいけば40度以上になります。気温の低い時期は發酵しにくいことがあります。堆肥として使う場合、生ごみの投入を止めてから2カ月ほど熟成させてください。



■ 問い合わせ先
生活環境課
☎0869-22-1899

※引用「おかやまエコ読本」（企画・編集：エコウェブおかやま／発行：吉備人出版）

警察安全情報

警察官などをかたる詐欺にご用心！

4月以降、岡山・倉敷市で、電話で警察官や銀行関係者の名前をかたり、通帳やキャッシュカードを騙し取ろうする手口の詐欺事件が連続で発生しています。

発生した事件で共通する点は、女性の名前で電話帳に đăngしている家が狙われているという事です。

6月末現在、瀬戸内市内における被害の届け出はありませんが、次のポイントを参考に用心し、被害に遭わないようにしましょう。

被害防止ポイント

- ・ 次の言葉が出たら疑う
- ・ 「口座からお金が引き出されています」
- ・ 「詐欺犯人を捕まえています」
- ・ 「通帳の口座番号、残高を教えてください」
- ・ 「キャッシュカード、通



- ・ 帳を預かります」
- ・ 警察官などをかたつたら「折り返し確認の電話をする」と言っていたん電話を切る。その後、該当の警察署（電話帳で調べる）に確認を行う。
- ・ 家を訪ねてきたら身分証明書の提示を受け該当の警察署、銀行などに確認する。
- ・ カードや通帳を渡さないようにする。
- ・ 誰かに相談
- ・ 慌てず、家族、警察署など誰かに必ず相談する。
- ・ 問い合わせ先

瀬戸内警察署
☎0869-34-6110

熱中症に注意しましょう

昨年は瀬戸内市管内だけで10人が病院へ搬送されました。熱中症は、炎天下や高温多湿の状況下で体温の調節が効かなくなった状態で、めまいや頭痛、痛みを伴う筋肉のけいれんなどの症状が出ます。いずれも発汗による脱水や塩分不足などが原因で、最悪の場合、死亡するケースもあります。

熱中症を防ぐため、次のことを注意しましょう。

- ・ 熱中症の予防対策
- ・ 十分な睡眠をとる。
- ・ 日差しが強い時は、外出を控える。
- ・ 激しい運動を避ける。
- ・ 喉が渇く前に、こまめに水分補給する。
- ・ 熱中症の応急手当
- ・ 日陰など涼しい場所へ移動させ衣服を緩める。
- ・ 首筋、脇の下、太ももの付け根に冷たいタオルや氷を当てる。
- ・ スポーツドリンクなどを飲ませ、水分補給をする。

救急車の適正利用を！

救急車は、命にかかわるようなケガや病気の人を一刻も早く病院に搬送するための車両です。



昨年、救急搬送した1、337人のうち542人が軽症患者で、全体の40%を占めていました。出動件数の中には、救急車が必要であったのかという事例もあります。軽症患者の搬送は、緊急に救急車を必要とする傷病者への対応を遅らせることとなります。いま一度救急車の適正利用について考えてみてください。

■ 問い合わせ
消防本部警防課
☎0869-22-1492

普通救命講習の受講者を募集

突然、心臓や呼吸が止まってしまった人を救うには、そばに居合わせた人が救命処置を行うことが大切です。皆さんも、万が一のときに役立つ普通救命講習を受講しませんか。

瀬戸内市消防本部では、9月9日の「救急の日」にあわせて普通救命講習会を実施します。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

- ▷日時 9月9日(木) 午前9時～正午
- ▷場所 瀬戸内市消防本部研修室
- ▷募集期限 9月2日(木)
- ▷受講費 無料
- ▷定員 30人(先着順)
- 問い合わせ・申込先
消防本部警防課
☎0869-22-1492